

やまと得々ミニ情報

第74号 2002年 9月1日

大和木材株式会社

〒891-1104 日置郡郡山町油須木 1299-1 番地

Tel 099-245-7048 Fax 099-245-7058

URL ; <http://www.synapse.ne.jp/~yamato-kk/>

Eメール ; yamato-kk@po.synapse.ne.jp

建設リサイクル法 守っていますか！

今年5月30日から、建設リサイクル法が施行され、分別解体等と再資源化等が義務化されました。従来のようにミンチ解体し、混合廃棄物として最終処分することはできなくなりました。これは産業廃棄物の最終処分場の残容量が少なくなってきたことと、環境への負荷を少なくする為に施行されたものです。

建設廃棄物は全産業の廃棄物の2割を占めており、東京ドームの約50個分に相当するそうです。また産業廃棄物の不法投棄の約6割が建設廃棄物であることから、厳しく取り締まられるようになります。罰則は発注者まで及びますので、しっかりした業者さんにお願ひし、マニフェストをもらいましょう。なお、発注者は分別解体の計画書を作成し、知事又は市町村長へ工事着工の7日前までに届出を出さなければなりません。また、工事中はその旨の標識を掲示しなければなりません。

木造住宅の場合、80㎡以上のものを解体する場合はかならず、分別解体しなければなりません。内装材、建築設備、屋根ふき材等を取り外した後、外装材、上部構造部分を取壊し、最後に基礎及び基礎ぐいを取り壊さなければなりません。また、木材やコンクリート等は再資源化が義務付けられていますが、再資源化施設までの距離が50kmを超える場合には木材については縮減（焼却）を行っても良いことになっています。

今後、産業廃棄物の処理についてはますます厳しくなってくることが予測されます。分別解体の際に処分の難しい材料の使用は少なくした方が良いと思われまふ。

建設現場での廃棄物を少なくする為には、構造プレカットにとどまらず、羽柄や合板のプレカットも検討されてはいかかでしょうか。

東京でも大好評でした

8月31日、9月1日の2日間、東京出荷1号棟の構造見学会がありました。運賃を掛けての出荷で競争力について心配していましたが、大変好評をいただき安心致しました。ホワイトウッド等の外材に比べ、今回出荷した鹿児島県産の杉・桧が坪あたり2千円程度のコストアップにしかならないことと、日本の風土に合っており耐朽性・耐蟻性に優れている等の説明に参加された方は驚かれていました。なおこの住宅はシックハウス対策で防霉防蟻剤は一切使わず、青森ヒバ油を使っていました。

【情報】 建築現場寺小屋塾が開催されます

隼人町ふれあいセンター整備工事で木造再生技術や金物を使った新木造構法や竹炭ボード、ノンハロゲン系防燃水などが紹介されるようです。

日時 平成14年9月13日（金）PM1:30～

場所 浜の市ふれあいセンター整備事業現場

主催 鹿児島建築新聞

【定休日】 9月は1, 7, 8, 14, 15, 22, 23, 29日となります

10月は5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27日となります

ご協力お願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)